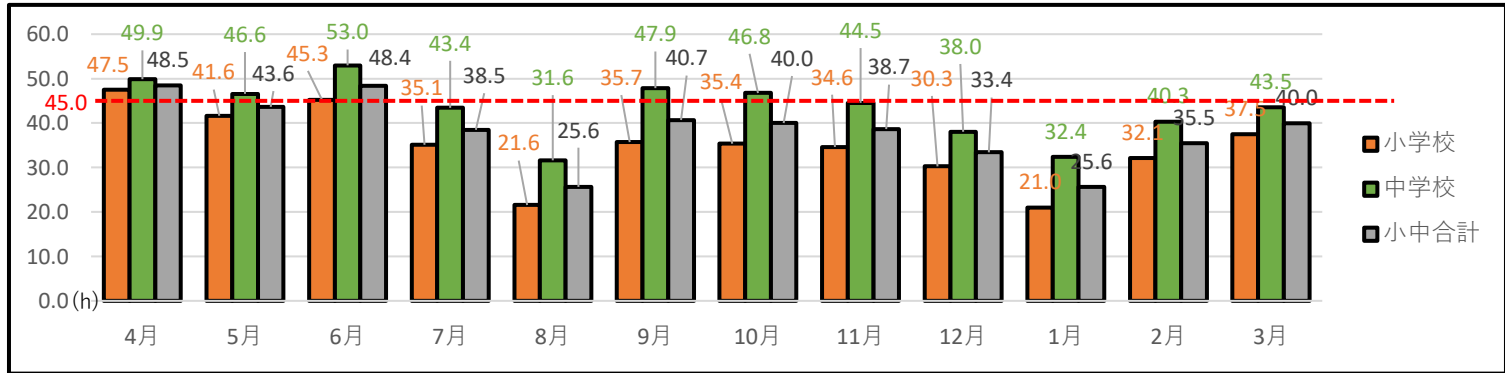


# 令和4年度(2022年度) 北広島市立学校の教育職員に係る時間外在校等時間の状況について

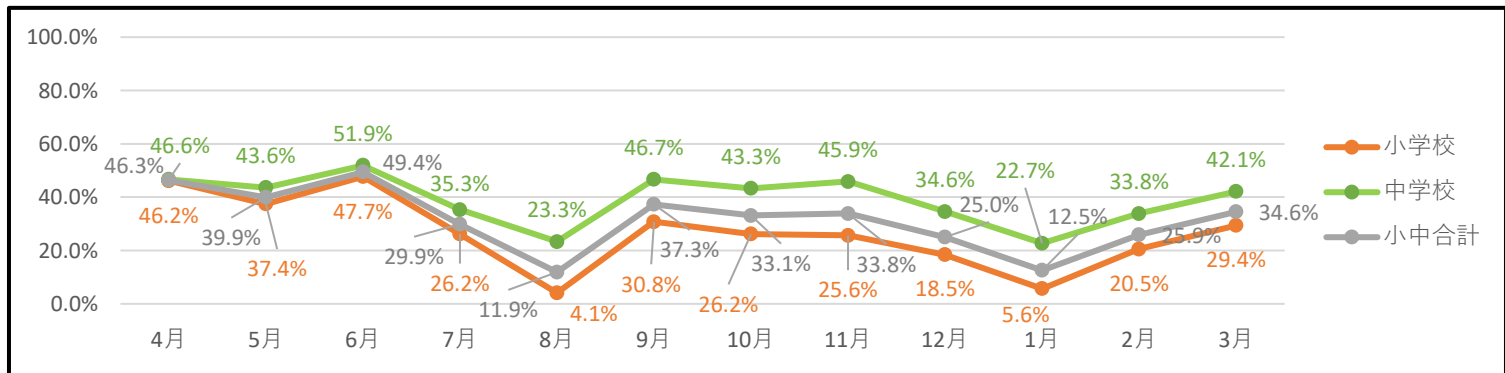
- 期間 : 令和4年(2022年)4月～令和5年(2023年)3月
- 対象校 : 北広島市立学校(小学校9校、中学校7校)
- 対象職員 : 教育職員(校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭)  
※ 令和4年4月時点に在籍していた者を対象としている。(フルタイムの職員のみ)
- ※ 市教委では「北広島市立学校における働き方改革推進計画」において、教育職員の時間外在校等時間の目標を1か月で45時間以内、1年間で360時間以内としている。

## 1 月別の時間外在校等時間の推移

### (1) 教育職員の時間外在校等時間(一人当たりの平均値)



### 【月45時間を超過した職員の割合】



## 2 年間の時間外在校等時間の状況

学校種	教育職員数	時間外在校等時間別割合			全教育職員平均 (月平均)
		360時間以内	360時間超過		
		月平均30時間以内	月平均45時間以内	月平均45時間超過	
小学校(9校)	211名	94名 (44.6%)	68名 (32.2%)	49名 (23.2%)	393.5時間 (32.8時間)
中学校(7校)	141名	54名 (38.3%)	34名 (24.1%)	53名 (37.6%)	499.8時間 (41.7時間)
小中合計(16校)	352名	148名 (42.0%)	102名 (29.0%)	102名 (29.0%)	436.1時間 (36.3時間)

## 3 調査結果を踏まえた課題と今後の取組について

- 「1 月別の時間外在校等時間の推移」について、(1)の「一人当たりの平均値」では、目標である1か月45時間を下回る月が多くなっているが、「2 年間の時間外在校等時間の状況」については、目標である1年間で360時間を超過している教育職員が、全体で204名(58.0%)となっている。
- 前年度と比べ、「年間360時間を超過する教育職員の割合」「時間外在校等時間年間平均値」ともに、増加している。  
(令和3年度「年間360時間を超過する教育職員の割合」: 小学校 50.0%、中学校 60.9%  
令和3年度「時間外在校等時間年間平均値」 : 小学校 385.2時間、中学校 477.9時間)
- 各学校において、職員で構成するコアチームを設置し、道教委で作成した働き方改革手引「Road」などを活用しながら、学校全体で対話を重ね、業務の改善や精選に努めているところであるが、昨年度については、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和され、行事や体験活動など教育活動がコロナ禍前の状況に戻りつつあることや、学びの保障のための教育活動の実施等により、前年度と比較して増加したものと考えている。
- 働き方改革の必要性を教育職員が理解し、教育職員の日々の生活の質や教職人生を豊かにできるように、引き続き、働き方改革推進計画に基づき学校をサポートし、教育職員の勤務時間の縮減に向け、取組を進めていく。